

お金を積みIAEAからのお墨付きをもらうためにアクションするのではなく（既に過去も風評被害に悩まされてきたフクシマの人達に対して）、今後は風評被害で悩まされることのないよう、また魅力のある都市にする為、どうすればよいかを考えるべきでした。

| | 風評被害を出さないために何をすべきか | IAEAへの拠出金に依存するアクション |
|---|---------------------|---------------------|
| 1 | 放射性物資の放出を限りなく0に抑えたい | 国際規格をクリアーしていればよい |
| 2 | 本当に100%安全なシステムにしたい | 見た目にきちんとしていければよい |
| 3 | 風評被害を凌駕する魅力的な街にしたい。 | 多少の風評被害は仕方がない |
| 4 | 改善の為、中国の放出方法を調査したい | 中国の禁輸は我々の責任ではない |
| 5 | もっと良い処理方法を検討したい | 現状で問題がないので、このままでよい |



文句を言わせない完璧な処理を行う。(P2～P3)



蓄積によって死の海の可能性あり(P4～P5)

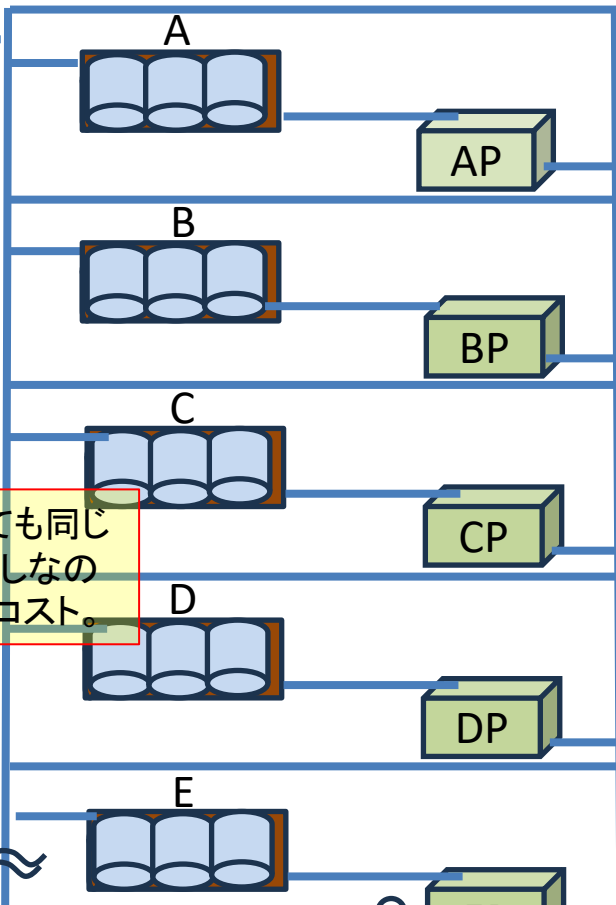
中国の方が拠出金額が大きい場合：中国寄りのIAEAからの重箱の隅をつつくような厳しい査定を受ける準備として、他の放射性物質の排出をシャットアウトし、トリチウムの厳格な希釈のプロセス管理が行われていたと想定されます。

＝風評被害を全く出さない仕組みでもあります。

ジャパングッズをばいばいとして、多くのハイテク産業が凋落しており「市場のダイナミズムから大きくズレた“国策”(＝献金・補助金)が産業界の新陳代謝を阻害している」との声がある。

献金や補助金を見直し、結婚適齢期への減税(1/2)で、少子化&経済対策を行う

前処理
設備



A:B:C:D:E・・・放射性物質の吸着棟

トリチウム以外の全放射性物質の自動測定システムを備えたプール「AP BP CP・・・」の10段程度の多段を通すことで、該全放射性物質の0を目指す(処理しながら、同時にメンテナンスも可能)どの電磁バルブを開き、どのポンプを作動させるか、AIが判断をする。

多段と言っても同じ構造の繰り返しなので、比較的lowコスト。

例えばCがメンテナンス中で使えないとして、A→B→D→EのEで放射性物質が観測されなくなっても、さらにFを通し、放射性物質(=0)のWチェックを行う。

PTで複数の機関でトリチウムの濃度を測定し、その濃度の最高値に対応した希釈用の海水の量を決定をAIが決定する。(Hの高さを設定する。)

再度希釈用の海水として取り込まれることを考慮

トリチウム濃度が安定すれば、又は測定が自動化されれば、**全自動で処理可能。**

今後の課題としてトリチウム濃度を自動計測できるようにする。(1日作業解消)

よく攪拌してから放水すれば、どこに放水をしてもよいし、さらに遠洋での「日干し蒸発」をすれば尚よい。

風評被害解消

洋上での日干し蒸発

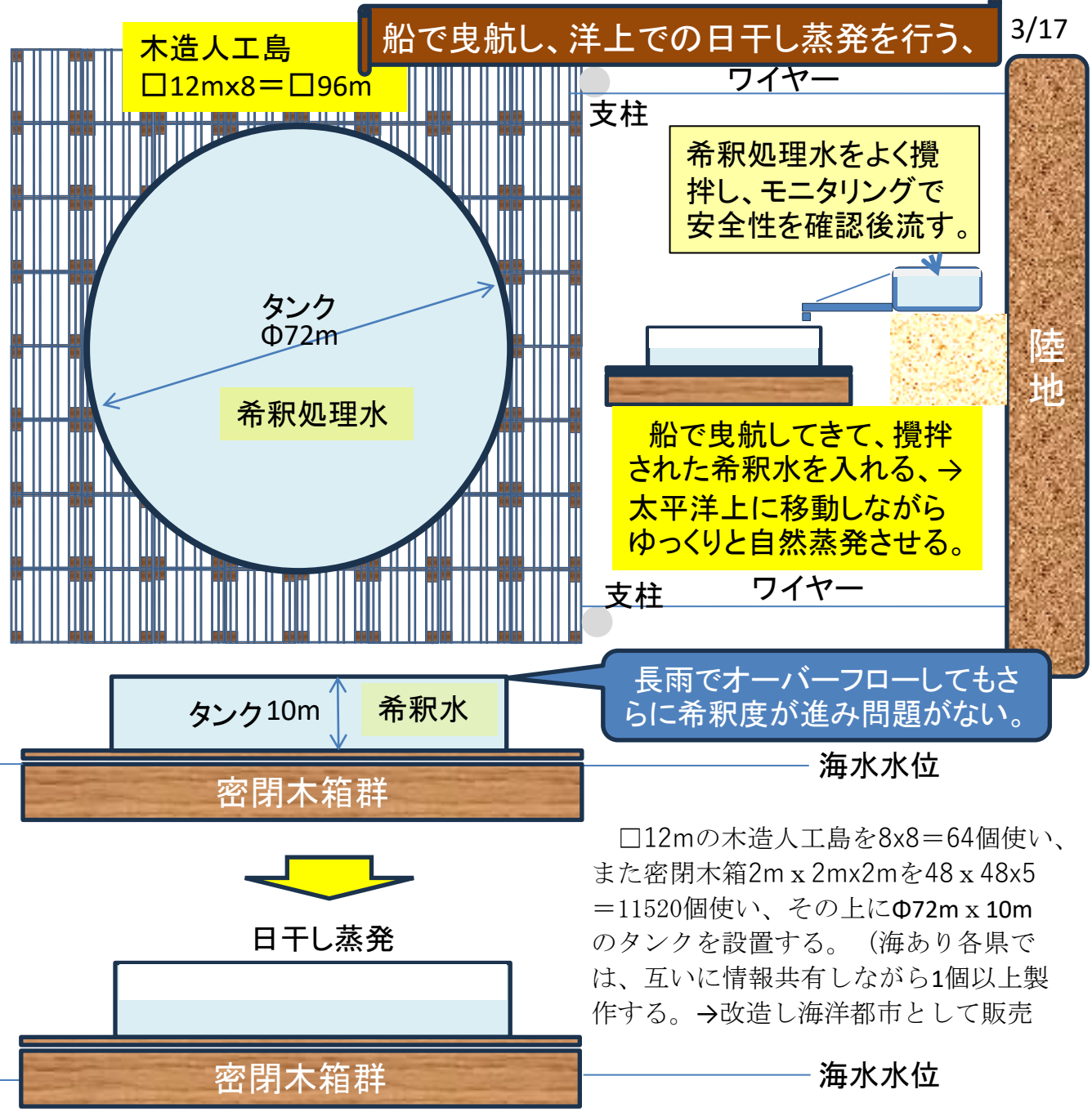
真のSDGS国家の形成

全国の都道府県で用意、希釈処理水を積んで太平洋上のどこかに移動する(日干し蒸発実施)。⇒100%再エネ&養殖での自給自足の海洋都市として、改造し販売する。

希釈処理水放水は物理的には問題がない(次ページ)ものの、心理的には問題があり(主に中国からの風評被害)、日干し蒸発に転換する。

化石国・環境後進国と言われてきたが、木造人工島の波力発電&CCUで、環境先進国に脱皮する。

- 地震や津波に強い
- 土地の買収が不要
- 居住地域との隔離



□12mの木造人工島を8x8=64個使い、また密閉木箱2m x 2m x 2mを48 x 48 x 5 = 11520個使い、その上にΦ72m x 10mのタンクを設置する。(海あり各県では、互いに情報共有しながら1個以上製作する。→改造し海洋都市として販売)

放水での海水中の放射性物質の蓄積経過のイメージ

トリチウム以外も含めて

放射性物質で汚染されると長期間回復の見込みがない。

5年 10年 15年 20年 25年 30年 35年 40年 45年 50年

基準値超えレベル

攪拌を行わず不完全な希釈を行った場合のイメージ

基準値内レベル

攪拌を行い完全な希釈を行った場合のイメージ

放射線量

中国やスリーマイル島では蒸発処理をしている。

長期的には未知数ながら、死の海となる可能性があり、回復に何十年もかかり、放水は行うべきでない。

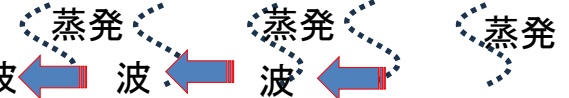
数年間では問題になることはない。

ALPS処理水(高温)

本来ここで、十分に攪拌しなければならない。また、ここで複数の機関で放射線濃度を確認してから、安全であることを確認してから放水すべきです。

汲み上げた海水(低温)

濃度の高い状態で繰り返し蒸発し黒い雨を誘発する可能性がある。



数十年後の放射線量は基準値以下になるのか

海

波は海岸に向かう性質があり、海面に漂う、比較的高い温度の、高濃度のトリチウムを含む処理水が海岸に寄せられ、トリチウムや他の放射性物質が、海岸付近で蓄積される可能性があります。

献金によって便宜を図る慣習が日本を滅ぼす。(技術を磨かなくても受注できる。)

100%

□ 主要10カ国の日本のGDPの割合

□ IAEAへの日本の分担金割合

同等

30%

IAEAへの拠出金の割合
(日本は突出した金額)

国民に分かりにくいように、各省庁から分担して、IAEAに献金(拠出金)している。

(東京新聞の調査による)

拠出金は外務省(3億円)、日本原子力規制委員会事務局である原子力規制庁(2.9億)、文科省(0.8億)、経済産業省(4.4億)、環境省(0.3億)で、総額(11.8億円)出している。

拠出金は、加盟国等が国際機関等と協議し、その結果有益と認め、支援すべきと判断した場合に自発的に資金を提供するものであり、分担金は、国際機関の設立憲章、総会の決議等により加盟国に金額が割り振られるものである。



医学部受験で、点数が足りない分お金を出すと合格点がもらえるという噂がある。

カネの力でなんとかする体質

内容が悪くても及第点がもらえる

<考慮すべき基本的なことができていない: 技術力低下>

1. カップを着用せず、汚染水処理に関する作業をした。
2. 希釈水を十分に攪拌したのちにモニタリングしていない。
3. 攪拌した希釈水のモニタリング後での放水をしていない。
4. 放射性物質の蓄積の影響のシミュレーションができていない。

海水より温度が高いALPS処理水が海面に浮き、波により、海岸付近に放射性物質が蓄積されやすい。

処理水放水しながらもイメージアップを行う提案 (フクシマだけでなく**日本全体の課題**)

輸出により
GDP倍増

福島・宮城・岩手の地震津波の被害にあった全地域にて「木造人工島の波力発電システム(資料1)」を大規模設置し、**100%再エネ化を達成**する。

再エネ100%のスマート都市の地域があり、しかも高度なヘルスケアシステムがあり、24時間スマートホンで予約し、いつでもどこでも乗れる交通システムがあるので「**ぜひ行ってみたい**」と思える地域にしたい。

イメージUP戦略(3本の矢)

全国平均

行きたい、生活したい
農海産物を食べたいと
思う気持ちのイメージ

第一原発事故

IAEAが認め、IAEAが継続的に監視する。安全基準を大幅に下回るので処理水を放水する。ダメ。

データに基づく丁寧な安全説明と、木造人工島の波力発電による100%再エネ化に加え、暮らしやすくするための複数のイメージUP戦略が必要になる。

ヘルスケア先進地域構築(資料2)

1. 自動介護システム(軽介護)
(極楽ベッド、匂いのしない水洗トイレ等)
2. ニューファミリーシステムの構築
チャットGPTで日常連絡を密にし、顔認証で安全な人のみが親密な交流、空き家や高齢者のみの住宅の活用と訳アリ家庭の解消へ

事故故障前提の安全安心な低速自動運転社会の構築

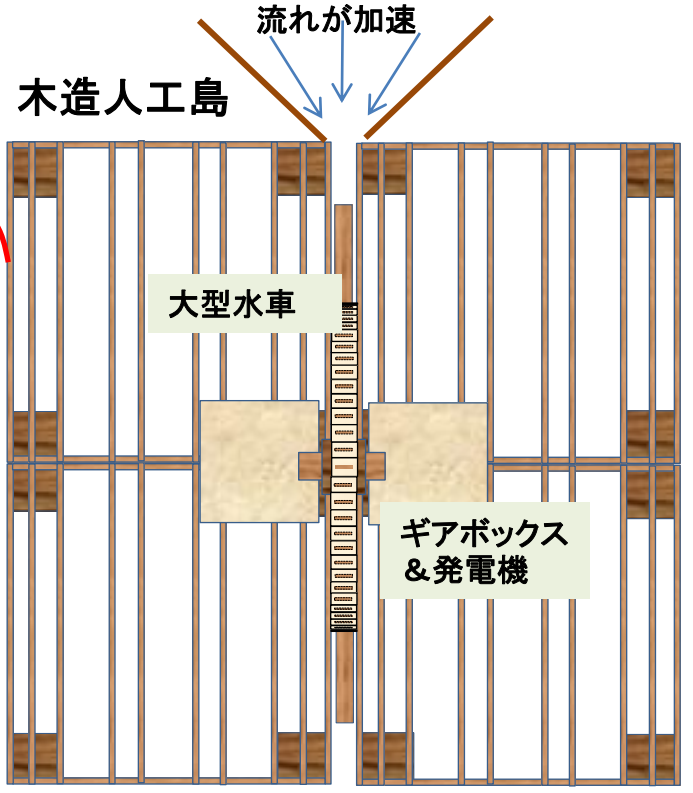
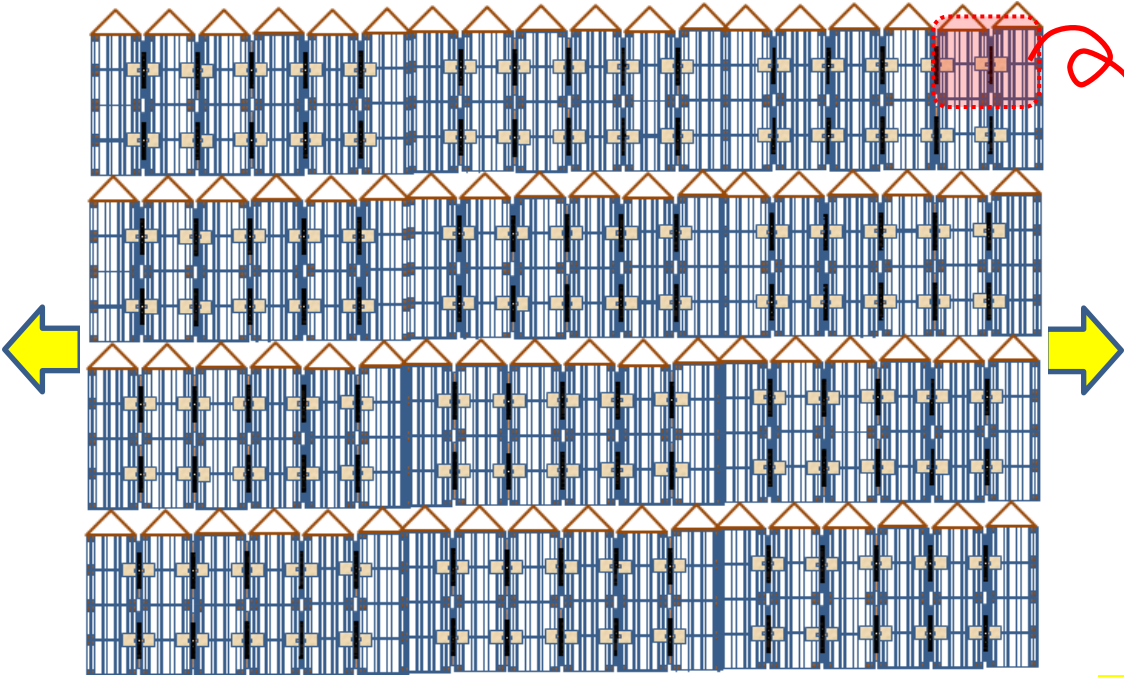
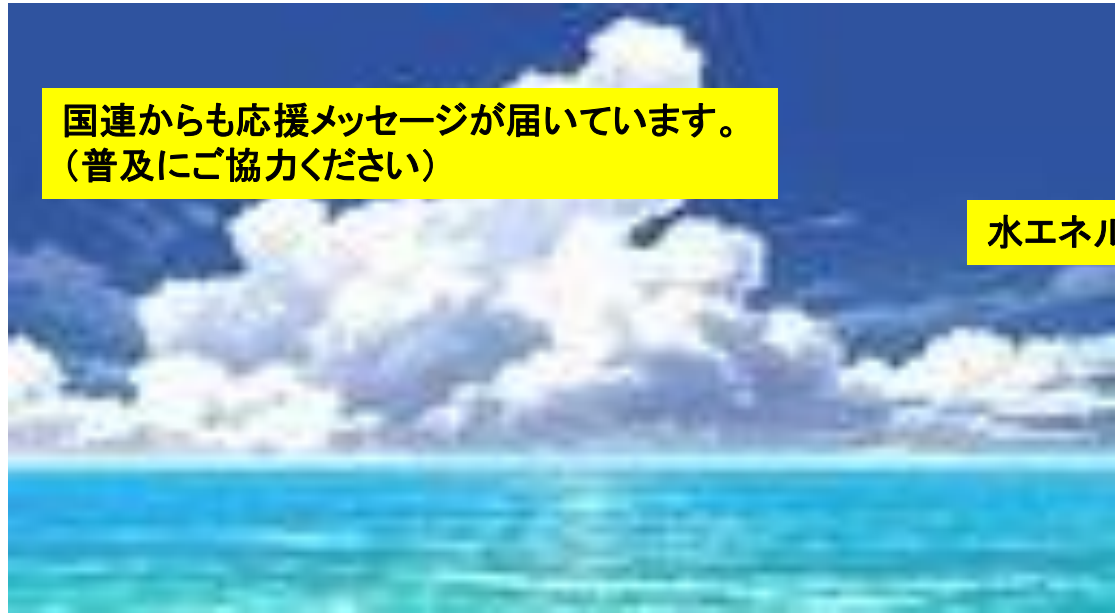
1. 時速6kmの低速自動運転車社会の構築(資料3)
2. 銀河鉄道網の構築(主に臨海部の海上設置:後半部)
3. 空中鉄道網の構築(給電しながら飛行する(資料5))

国連からも応援メッセージが届いています。
(普及にご協力ください)

全ての波は海岸に向かって進みます。
波の流路を狭めることで流れが加速し、
大型水車を高速で回すことができます。

水エネルギーは空気の770倍、木製水車が世界を救う。

木造人工島の波発電は、低コスト・短納期・24時間大規模発電が可能で、環境にやさしく、森林の循環に貢献する。



木造人工島の波発電で、全再エネ化達成

各種養殖が可能で、世界の食糧危機も同時に救うことができます。

風力発電

木造人工島の波力発電

大型羽根

もはや新しく計画をすべきではない。

Global standard

可変ピッチ機構
風速により羽根の向きを変える。

ブレーキ(台風対応)

ギヤボックス

発電機

回転機構(風向き対応)

秋田沖洋上風力発電所
総工費約1千億円、出力4200キロワットの風車を能代港に20基、秋田港に13基建てるので、1基あたり約43億円となる。

出雲陸上風力発電所:
総工費約240億、出力3000キロワットの風車が26基、1基あたり約10億円となる。

土台

水エネルギーは空気に比べ770倍(同じ回転数でも)回転力がすごい。

木製水車

ギヤボックス

発電機

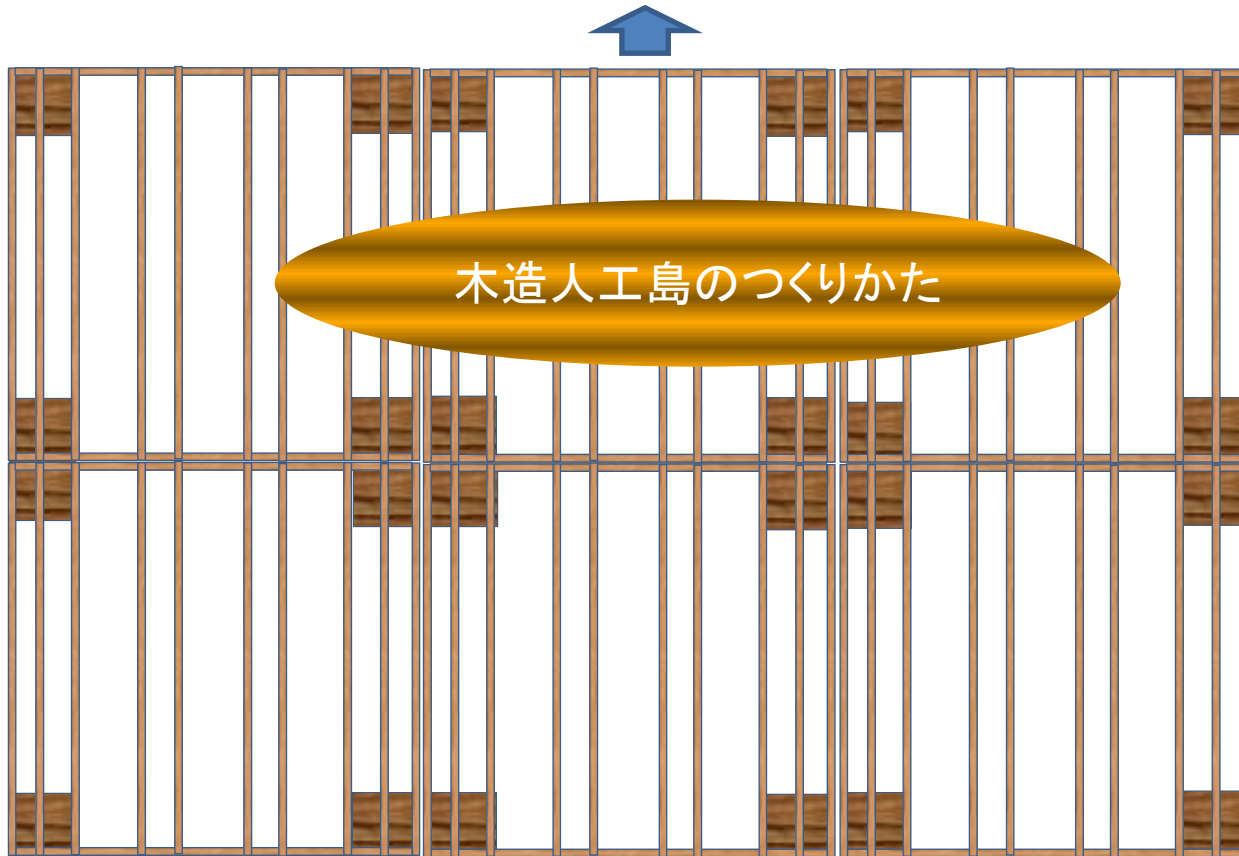
木造人工島

洋上風力発電: 1 VS 200: 木造人工島の波力発電

超高価(30億)
要台風対策
稼働率20%
メンテが大変
機構が複雑
健康障害あり

低価格(1千万)
短納期(半年)
24時間大容量発電
森林循環に貢献
メンテナンスが楽
海産物農業が可能
(海洋ごみの収集が可能)

□12mの人工島ユニットの場合は、標準木材:3000x300x200の外枠12個&骨組み24個使用し、長さ調整材:2600x300x200を10個使用し、また、両メス型外枠材3000x300x200を2個使用し(以上は床材)、さらに2000x2000x200等の密閉木箱を用意する(total100万位?)



特許: https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7112150

標準的には2mx2mx2m(約8t)の密閉木箱を4個(約32t)を配置し、積載重量に応じて、数をやしたり、下側に積み重ねることもできるので、大型木造ビルが立ち並ぶ、超大型海洋都市が可能になる。

ユニット同士の連結は、φ100の木製のリベットで位置決めをし、木工ボンド等で接着をする。

各地の木工所(製材所)さんにて木材を所定の大きさに加工し、一度仮組をして寸法の確認をし、ばらして、部品のまま船に持ち込み、船上で再組み、クレーンで下ろして、連結していく

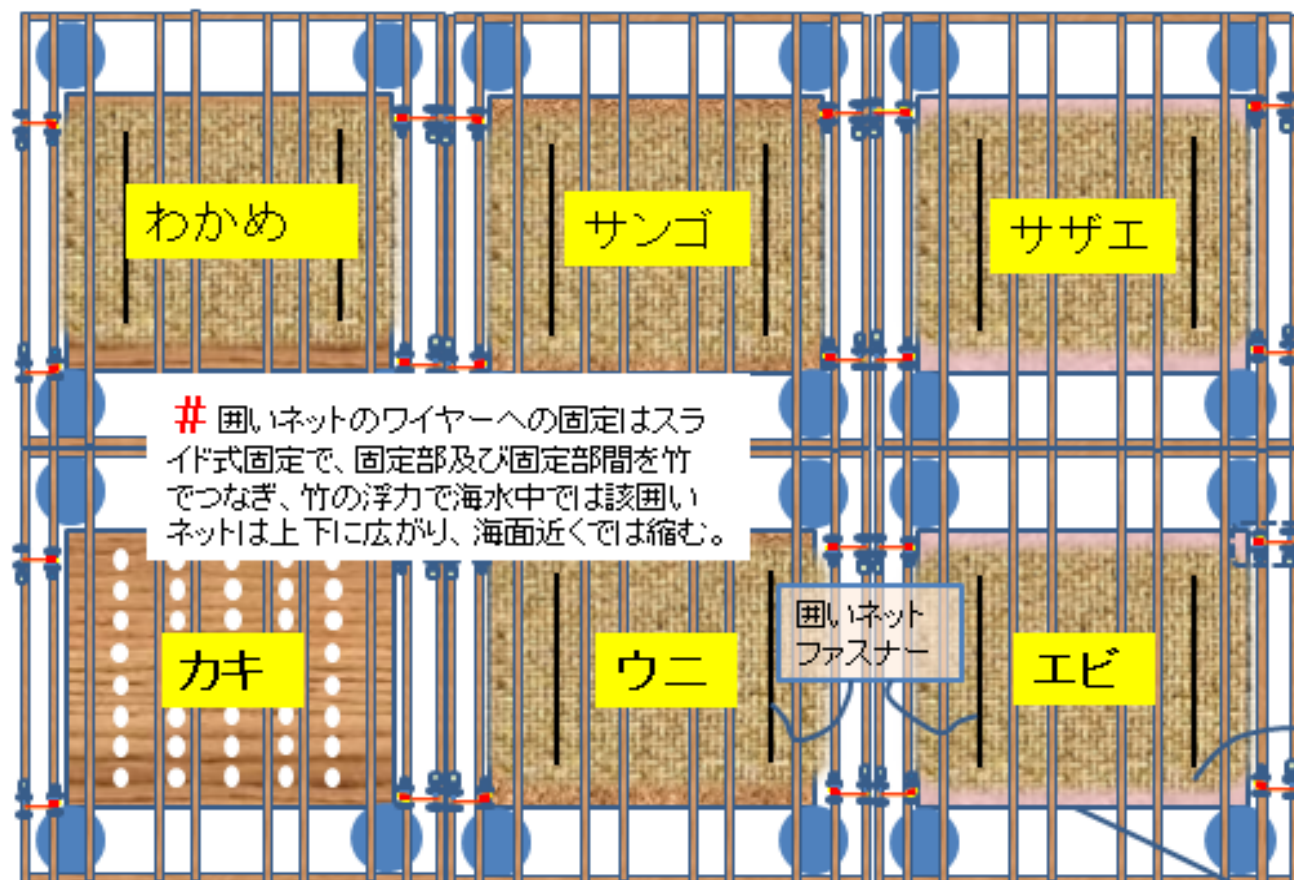
車や人が通る場所は、厚さ30程度の板材と手すりなどを用意する。

住居やビル等は、荷重を分散させながら直接建造設置する。

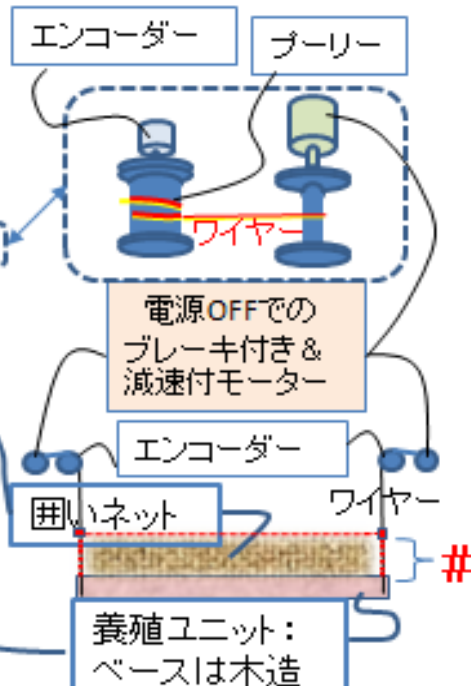
その他は、平均200の厚さの板材の上に、平均200の土を盛る。

海産物農業

□12mの人工島ユニットごとに、□8~10mの「養殖ユニット」を設定し、4本のワイヤーで吊り、AIが温度や日照を考慮して、最適な深さ制御を行う。



養殖ユニットの4か所をワイヤーで吊り、エンコーダー付帯のプーリーを一回転介してから、モーターで巻き取ることで、正確な高さ調整を可能とする。



特許：https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7240055

その地域の天候や海水温によりAI自動管理システムが深さ制御を行い各種海藻の最も適する深さで栽培する。



育成管理や収穫時には、海面近くまで引き上げ、潜らなくても作業できるようにする。(海産物農業へ)

● → ■ として考えてください

銀河鉄道木製車両

低空飛行で、故障してもプロペラは回転数を落としながら、ゆっくりと回り、軟着陸する。
前方□200m内に船舶等があれば、外れるまで、着水待機する。

川

修理工場

水路

□1.2m(12人乗り)
1.2x2.4(6人乗り)
ベッド仕様

各部屋の両サイドにはTVモニターがあり、進行方向と後方のカメラ映像を見れます。
また、ドアの内側にはタッチパネルが付帯しており、次の予約や予約変更、トイレや買い物のための降車指示を出すことが可能、

ワイヤ巻き取り装置

バッテリー交換 & 仕様変更ハウス

内部上側のワイヤ巻き取り装置

3mの高さで飛行

スロープ離陸エリア

1mの高さで飛行

スロープ発着エリア

海

カーテン

バッテリー (x4)

2500

ワイヤ引っ掛けフック

プロペラ

バッテリー (x4)

2500

水位

ヘリウムを充填(浮力30kg)

クッション性のある構造又は素材

水路ポートの利点:
ボトムの負担が少なく、形状は適当でよい。
両端のワイヤーで正確な位置決めが可能

水路

+

+

+

+

+

+

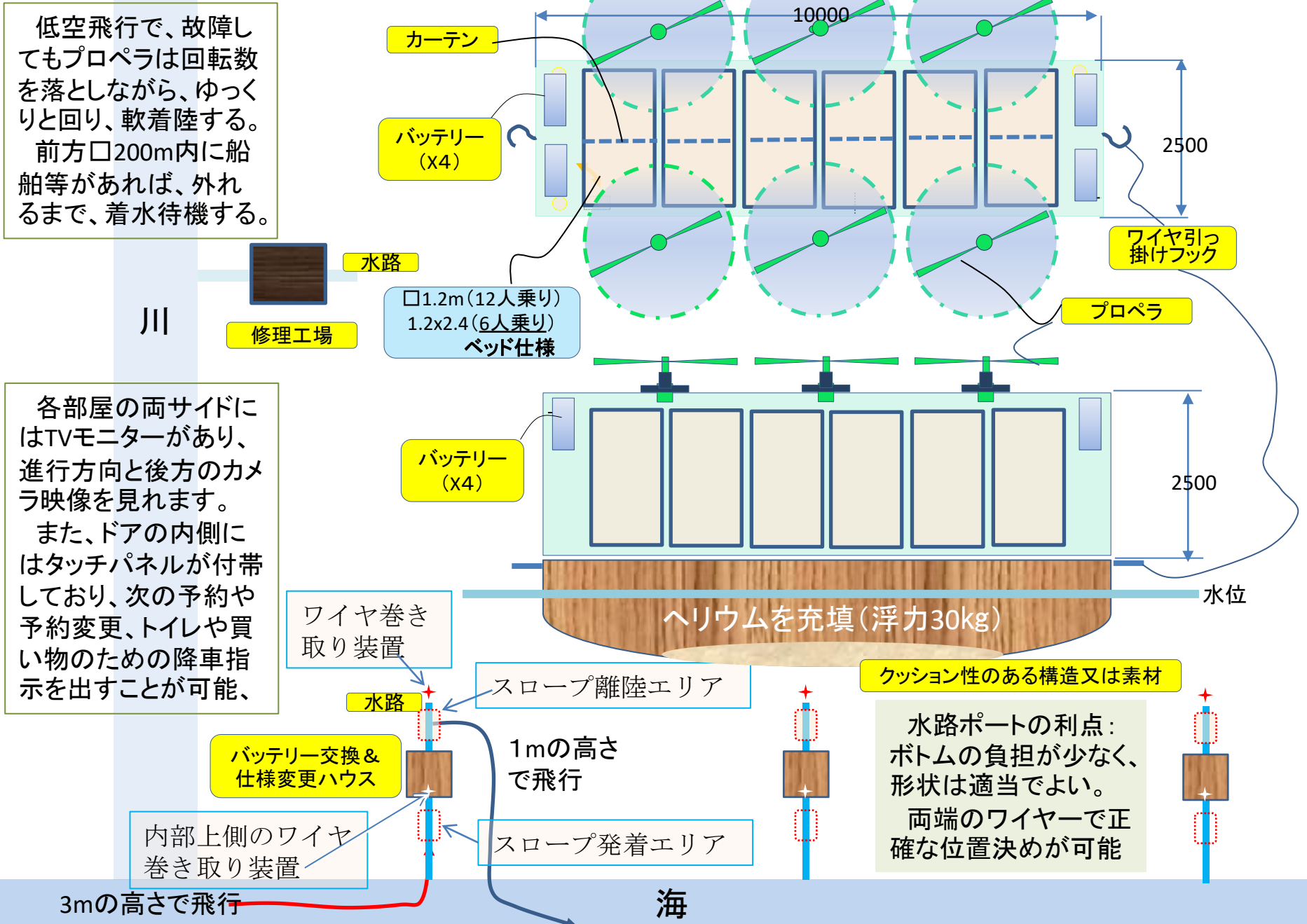
+

+

+

+

10000



銀河鉄道概要 (12人乗り、30~50km/h)

前ページの図において、故障落下時時の安全対策として、大型ドローンが、地上は1m、水上は3mで飛行する仕様にし、客室の下側を船状にし、さらに概船状のボトムを柔らかい素材にすることに加え、柔らかめの座席やベッドにすることで、落下時での身体へのダメージをほぼ0にする。

下側が安全で乗客がいないときは必要な高さで飛行することがある。(最大でも100m以内を想定)

衝突を回避するシステムとして、前方□200m内に、他の船舶等が存在していれば、着水しプロペラを止めて、該船舶等が前方□200mの域外に出るまで待機する。尚、該船舶等が全く移動せずに存在し続ける場合には迂回し、前方□200m内に船舶等が存在しない状況を作り出しながら、飛行をする。

該大型ドローンの前後に、ワイヤーで引っ張ることができるようなフックを設定し、海上でも陸上でも、(陸上の場合はビニールシート等を敷いて滑りやすくする)該フック部にて、ワイヤーを経由して、他の該大型ドローン、船舶や自動車等によって引っ張り、移動できるようにする。

海上での故障やバッテリー切れをしても、海上に漂う、すぐに連絡を受けたバックアップ機が飛来して、ワイヤーで故障車両を曳航し、もよりの水路ポートにて、乗客の載せ替えを行う、

24時間いつでも乗車&下車ができる。(スマホで予約&キャンセルをする。)水路ポートを設置すれば(海までの障害物がなければ)停留所はいくらでも設置できる。

次ページの図にて、該大型ドローンを水路に置いた12/17状態で、両端のフック部それぞれをワイヤーでつなぎ、ワイヤー巻き取り機でワイヤーを巻き取ることで、該大型ドローンが移動をし、また該二つのワイヤー巻き取り機を連動させることで、すなわち片方の巻き取り機が巻き取り、もう一方の巻き取り機が巻き戻しを行う連携動作によって、水路上での該大型ドローンの精密な位置決めが可能になる。

木造人工島概要

木枠を組んで、下側から複数の密閉木箱を使い浮力調整を行う、古典的な技術ながら、特許の取得ができている。「特許7112150浮遊人工島」。波力発電と海産物農業の大規模展開で、地球温暖化防止と食糧危機を救う。

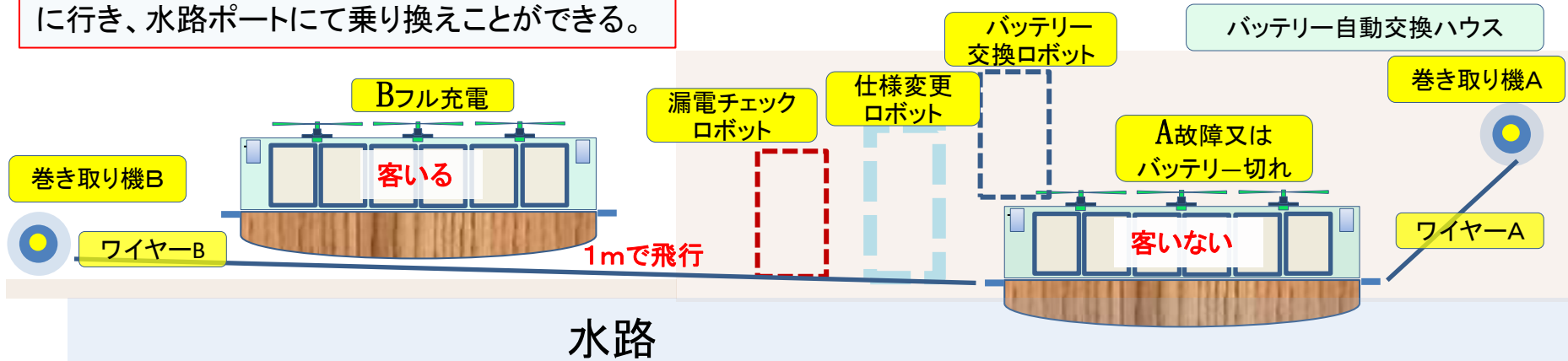
バッテリー自動交換ハウス概要

水路ポートの上側に設置する、ロボットによる各種交換やチェックを行う場所で、人が車両前後のワイヤーの取り付け取り外しを行うが、基本的に管制センター(チャットGPT)からの指示にて各種作業を行う。

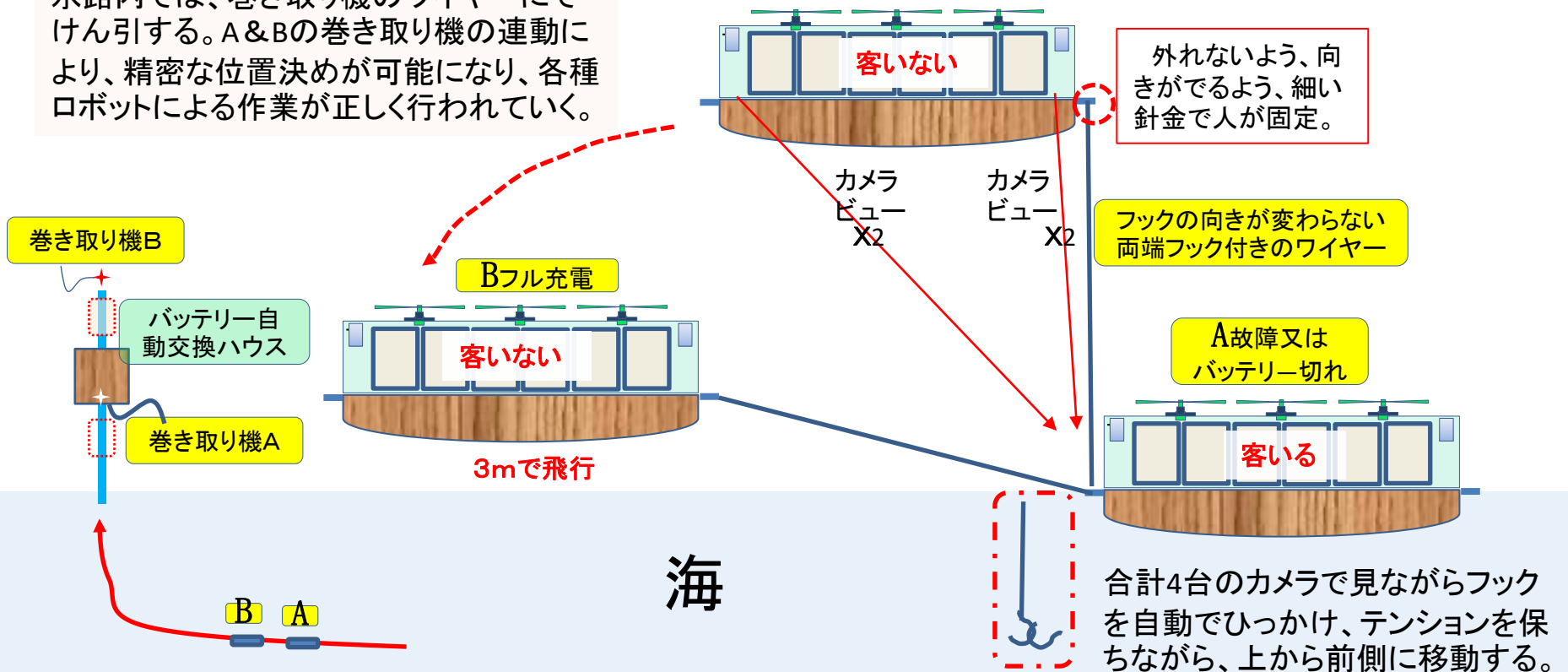
乗降客の動向はすべて把握されているので、どこでどのバッテリーを交換するのがいいか、自動的にスケジューリング管理がされている。(進行方向前方に船舶の往来が激しく、何度も待機し、起動のエネルギー消費で、万が一バッテリー切れが起きても回復が早い。)

仕様変更ロボットは、椅子席二個(境界は壁と家族等でのカーテンタイプがある)タイプとベッドタイプのユニット交換を行う。尚ベッド仕様で、洋上ホテルとして使用する場合は、トイレやコンビニ等がある宿泊専用ポートを洋上に用意する。(木造人工島可)

バッテリー切れ & 故障しても、バッテリー交換をしたばかりのフル充電のドローンがすぐに迎えに行き、水路ポートにて乗り換えことができる。



水路内では、巻き取り機のワイヤーにてけん引する。A&Bの巻き取り機の連動により、精密な位置決めが可能になり、各種ロボットによる作業が正しく行われていく。



マイナス要因をなんとしてでも挽回する

処理水の放水提案者及び決定者による安全保障パフォーマンスが難しい場合には、復興費を使い、無償で設定していただく

木造二重構造の無人運転12人乗りの大型ドローン。事故故障前提であり、地上を1m、海上を3mで飛行し、故障しても羽は回り続けゆっくり落下するので、まずけがをすることはない。（船のように海に浮かぶ）台風や強風時には飛行しない。

既存技術の応用で可能であり、スマホアプリと連動した管制システムは米GAFA等に依頼するが、全世界への展開が可能であり超安値で発注。

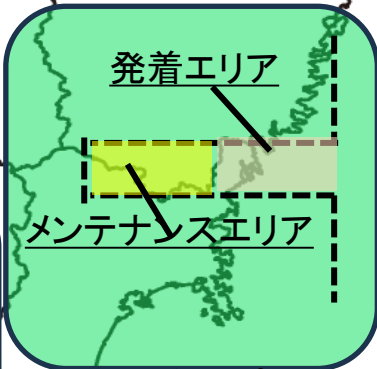
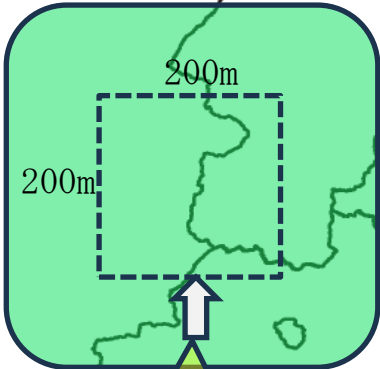
この間では1kmごとに水路型ポートがあり、地域住民の足として、観光の移動手段として、24時間スマホで予約して乗車が可能であり、ポート混雑時には、海上に着水して待機する。（プロペラの回転を止める。）

着陸時の衝撃を0にするため、ポートをプール状にする。

各ポートのメンテナンスエリアに自動バッテリー交換所が付帯しており、必要に応じ、バッテリー交換をする。（漏電を含めて各種安全点検が自動で行われるが、乗客は降りて実施されるため時間がかかる。）

2バッテリーで二電源系統のため、故障しづらい、詳しくは「木造人工島」で検索「ガーデンフィールド」のHPの「空中鉄道と木造人工島」をご参照下さい。

□200mルール（衝突事故0徹底）



水路型ポート

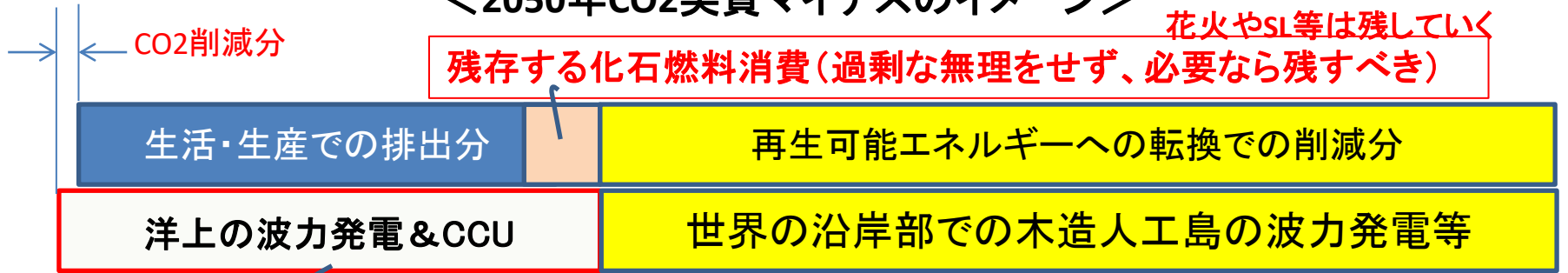
浮遊型海洋都市
■（場所・規模・内容等全未定）

前方□200mに船舶等がいたら、域外に出るまで着水をして待機をする。

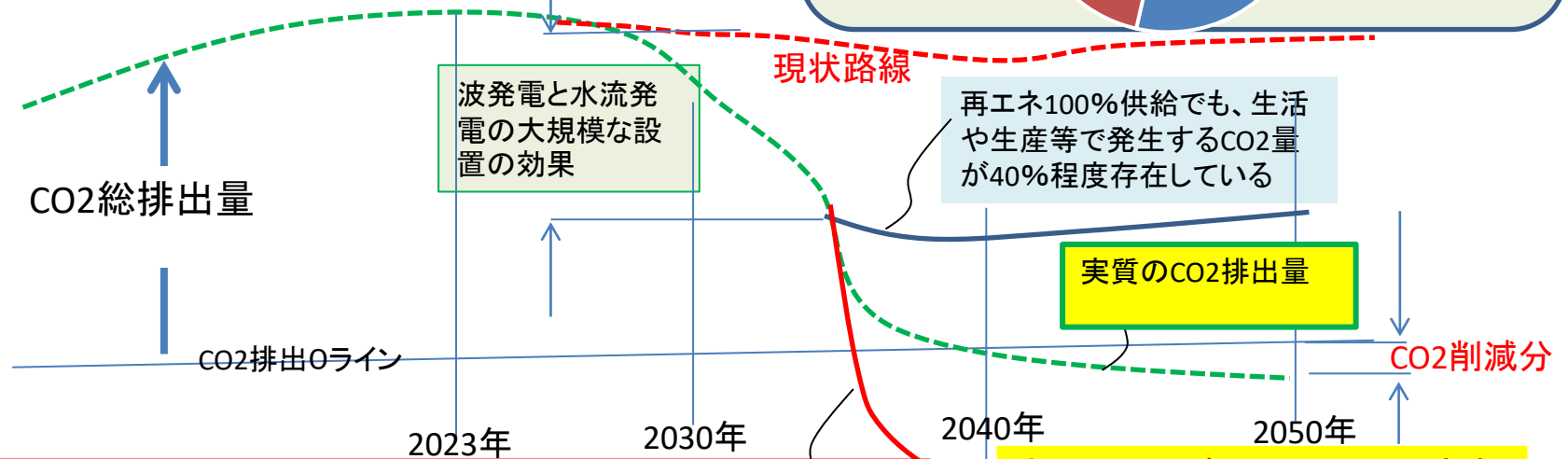
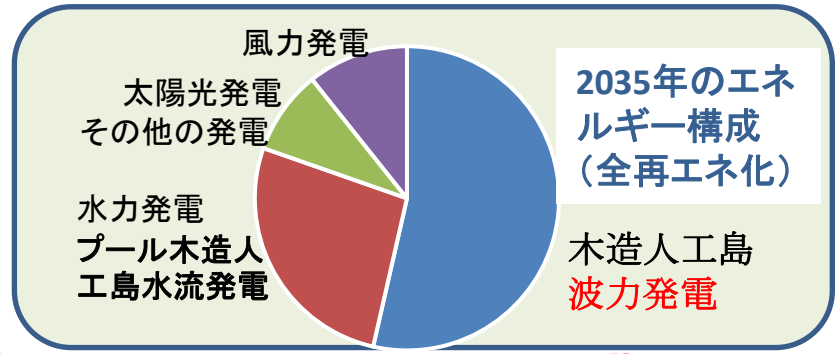
<2050年CO2実質マイナスのイメージ>

花火やSI等は残していく

残存する化石燃料消費(過剰な無理をせず、必要なら残すべき)



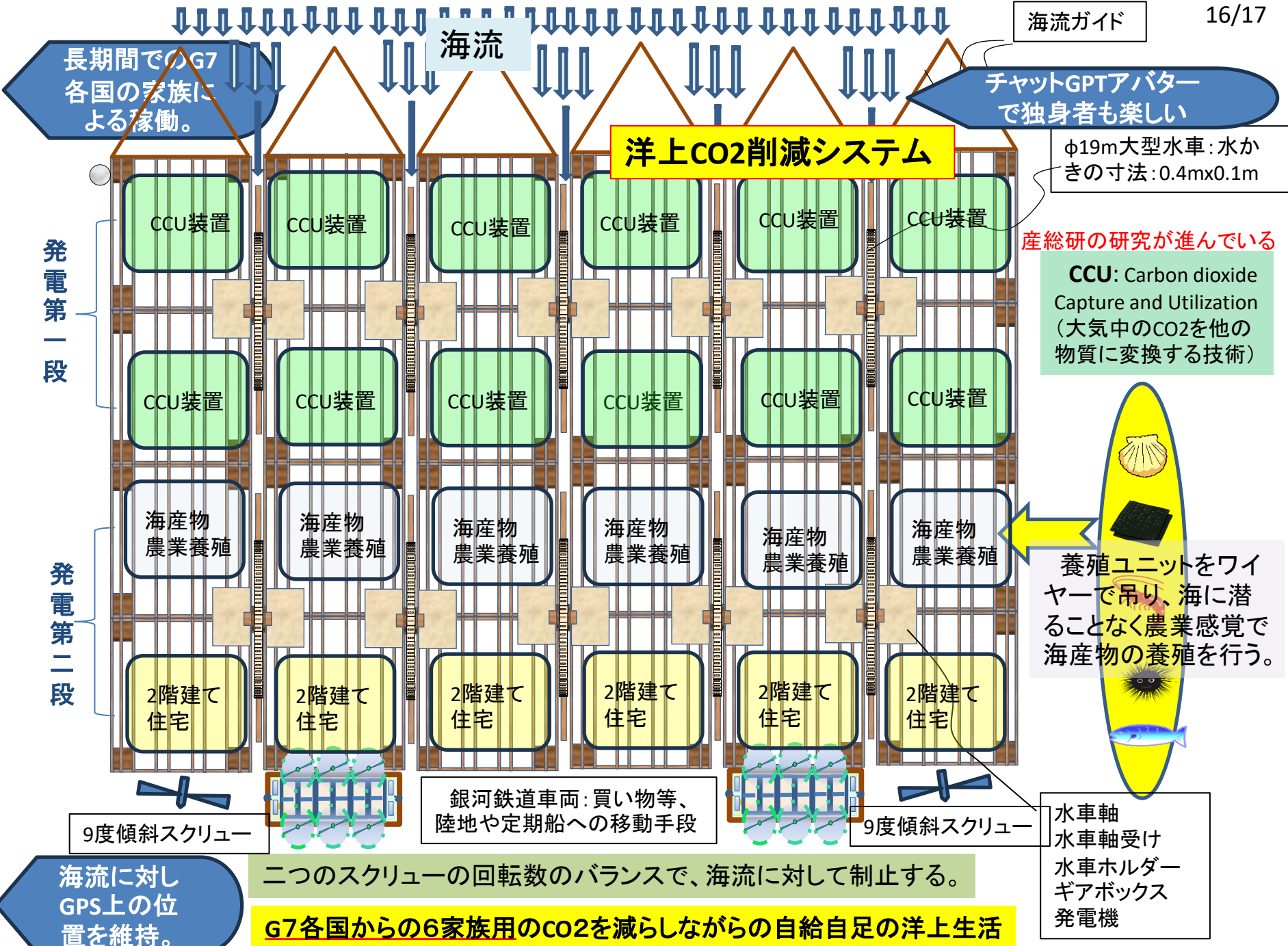
世界の洋上で、G7が中心となって、木造人工島の波力発電&CCUを展開する。(稼働&メンテナンス要員も自給自足で生活する。)



(ビューポイントを除き)ありとあらゆる世界の沿岸部に波力発電及び河川に水流発電を設置、又洋上にてG7が中心でCCUを稼働させ、CO2削減を行う。

実質のカーボンニュートラル達成

2035年までに全世界で全再エネ化をし、2050年までにCO2排出をマイナスにする。



長期間でのG7各国の家族による稼働。

チャットGPTアバターで独身者も楽しい

洋上CO2削減システム

φ19m大型水車: 水かきの寸法: 0.4mx0.1m

産総研の研究が進んでいる

CCU: Carbon dioxide Capture and Utilization (大気中のCO2を他の物質に変換する技術)



養殖ユニットをワイヤーで吊り、海に潜ることなく農業感覚で海産物の養殖を行う。

発電第一段

発電第二段

9度傾斜スクリュウ

銀河鉄道車両: 買い物等、陸地や定期船への移手段

9度傾斜スクリュウ

水車軸
水車軸受け
水車ホルダー
ギアボックス
発電機

海流に対しGPS上の位置を維持。

二つのスクリュウの回転数のバランスで、海流に対して制止する。

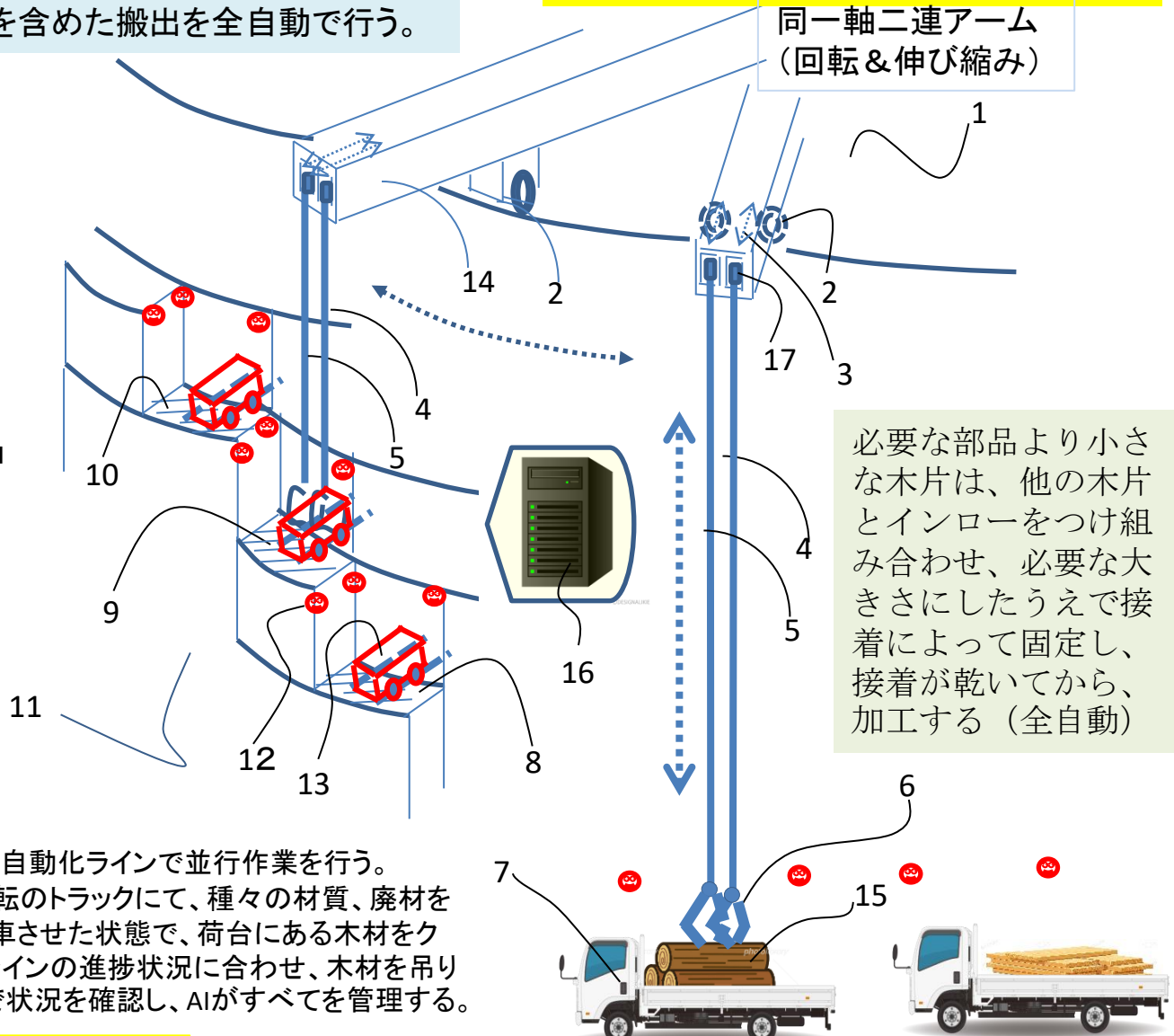
G7各国からの6家族用のCO2を減らしながらの自給自足の洋上生活



円筒形高層ビル木材加工全自動工場

低速自動運転車で一定の大きさの木材を運び、自動搬入・自動加工・製品梱包・分別ごみを含めた搬出を全自動で行う。

1. ビルの屋上
2. タイヤ(重量受け)
3. 下側回転クレーンアーム
4. ワイヤー1(電源ケーブル付)
5. ワイヤー2(電源ケーブル付)
6. ロボットハンド
7. 低速自動運転トラック
8. 15階荷受け部
9. 16階荷受け部
10. 17階荷受け部
11. 円筒高層ビル側面
12. AIに画像情報を送るカメラ
13. トロコ形状の荷物受取の移動ロボット
14. 上側回転クレーンアーム
15. 各種木材
16. AIサーバー(全体統括)
17. ワイヤー滑車部



在庫を持たず、トラックから直接吊りあげ、17/17加工し、また加工品を直接トラックに積む。

AIが複雑な形状をした廃材を何の部品に適用し、どう加工したらよいかを決める。

同一軸二連アーム (回転&伸び縮み)

必要な部品より小さな木片は、他の木片とインローをつけ組み合わせ、必要な大きさにしたうえで接着によって固定し、接着が乾いてから、加工する (全自動)

8~10番の荷受け部には、13が出入りし、各種木材を製造ラインまで運び、製造ラインのロボットが加工する。(全自動)

世界の市町村に設置し、各階で同じ自動化ラインで並行作業を行う。クレーンを回転しながら使い、無人運転のトラックにて、種々の材質、廃材を含め木材を運び、複数のトラックを停車させた状態で、荷台にある木材をクレーンで吊り上げ、各階の自動加工ラインの進捗状況に合わせ、木材を吊り上げて、ラインに運ぶ。複数のカメラで状況を確認し、AIがすべてを管理する。